

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2018年 6月 27日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
②測定ツール名	進路マップ 実力診断テスト					
③主な対象者	四年制大学・短期大学・専門学校を含む各種の学校への進学から就職まで幅広い進路を目指す高校1年生・2年生・3年生向け					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○	○	○			○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	<p>【目的】 高校履修範囲を中心（1年6月回は義務教育範囲含む）に基礎学力の定着度・学習習慣の状況を定期的に測定することで、学校としての指導改善、生徒の学習改善・基礎学力向上・学習意欲の向上に役立ててもらうことを目的とする。</p> <p>【概要】 ・「記述式」問題により、義務教育範囲から高校履修範囲までの基礎学力の定着度をそれぞれの学校の進度に合わせて（回ごとの進度対応）、より客観的に測定することができます。回ごとに生徒用事前教材が準備されているので、生徒一人ひとりが意欲的に事前学習に取り組める仕組みになっています。 ・生徒個人向けに、基礎学力の到達状況を全体としての学力測定指標「学習到達ゾーン(GTZ)」や「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」別の結果として提供すると共に、学習アドバイスを提供することで、受検結果を次の学習改善につなげます。 ・学校へは学年集団の特性がわかる概況データ及びクラス担任・教科担任先生用に学習状況を踏まえた情報を提供することで、指導改善や生徒への声かけの材料として活用いただけます。 ・1年生から3年生まで各学年3回構成となっており、選択問題も含まれますので、学校の進度により合った実施が可能です。国語・数学・英語の教科問題50分間×3教科に加えて、英語スピーキングテスト問題25分間または学校採点の英語スピーキング問題5分間、アンケート30分間の構成です。</p>					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	<p>【特長】 ・診断結果は「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」の観点で評価し、テストと合わせて学習力（教科学習面・生活面・進路面）に関するアンケートがあり、学力と学習力（学習状況）の両面から、生徒向けにアドバイスコメントを返却します。 ・結果を振り返る中で「振り返り問題」を提示し、事後の学習行動を具体的にアドバイスします。</p> <p>【活用例】 1年6月に実施し、入学後1学期段階での「基礎学力」と「学習力」の初期把握を行い、その結果を学年の指導計画に反映します。また、個人票を元にしたクラス担任先生の個別面談により生徒一人ひとりの状況把握ができます。1年9月に2回めを、1年1月に3回めを受検することで、4月からの学力の推移と学習力の変容を定期的に測定・把握し、指導改善のPDCAサイクルを回し、次年度の指導計画立案につなげます。</p>					
⑧実施期間、年間実施回数	【実施期間】実施時期は、1年6月・1年10月・1年1月、2年6月・2年10月・2年1月、3年4月、3年6月・3年9月の計9回。 3年4月より「理科」「地歴・公民」「基礎・活用」が付きまします。					
⑨実施方式 (CBT/PBT)	PBTのみ					
⑩試験時間(分)	国語		数学		英語	
	各学年回 記述式問題：50分		各学年回 記述式問題：50分		各学年回 記述式問題：50分（リスニング・リーディング・ライティング） スピーキングテスト問題：25分 または 学校採点のスピーキング問題：5分	
⑪受検料	1年6月～2年6月まで：学校採点の英語スピーキング問題の場合：1,750円、英語スピーキングテスト問題の場合：2,550円 2年10月以降：学校採点の英語スピーキング問題の場合：1,860円、英語スピーキングテスト問題の場合：2,660円 ※すべて消費税等込 ※3年4月より「理科」「地歴・公民」「基礎・活用」の科目が増えますが、受検料は「2年10月以降」と同じ金額です。 ※英語スピーキング問題について、2019年度3年生対象回は学校採点のみの対応となります。					
⑫標準返却期間	答案到着後約4週間で返却。					
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	https://bhs0.benesse.ne.jp/ ※教員専用URL					

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト

対象教科:国語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

主な対象者: 四年制大学・短期大学・専門学校を含む各種の学校への進学から就職まで幅広い進路を目指す高校1年生・2年生・3年生

測定しようとする資質・能力

「書くこと」「読むこと」に関する資質・能力 等

出題範囲:

高1・6月…義務教育範囲、および、高1の5月までの履修範囲からの出題

高1・10月…義務教育範囲、および、高1の9月までの履修範囲からの出題

高1・1月…高1の12月までの履修範囲からの出題

高2・6月…高2の5月までの履修範囲からの出題

高2・10月…高2の9月までの履修範囲からの出題

高2・1月…高2の12月までの履修範囲からの出題

高3・4月…高1・高2全履修範囲からの出題

高3・6月…高3の5月までの履修範囲からの出題

高3・9月…高3の8月までの履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、各実施月に応じた出題範囲を決定します。

※一部選択大問を導入しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、大問を選択することが可能。

主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

漢字や語彙、古典知識・文法、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題。

主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、考えたことを自分の言葉で表現したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題。

難易度: 平均40%前後の得点率となる難易度

(2)構成等

①出題形式

選択式 40%、短答式 40%、記述式 20%程度。

②出題範囲

※設問数、配点ともに同じ割合。

実施学年月	義務教育範囲	必履修科目範囲 (国語総合)	選択科目範囲 (古典 AB)	備考
1年6月	60%	40%	0%	
1年10月	60%	40%	0%	
1年1月	60%	40%	0%	
2年6月	0%	100%	0%	
2年10月	0%	100%	0%	
2年1月	0%	100%	0%	
3年4月	0%	60%	40%	
3年6月	0%	60%	40%	
3年9月	0%	60%	40%	

(3)難易度設定の考え方・方法

過去の結果データを参考にし、難易バランスを重視した作問により、全体で 40%程度の得点率となる難易度とします。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

テストの出題と、同程度の難易度・出題形式の問題を掲載した事前学習教材に取り組むことにより、出題範囲の基本事項をおさらいするとともに、難易度や形式に慣れたうえで、解答に臨むことができます。

(5)その他特長

高3の4月・6月・9月においては、理科（物理・化学・生物）、地歴公民（世界史・日本史・地理・現代社会）、加えて、就職するにあたって必要な語彙力、計算力、読解力を測定する「基礎・活用」も出題します。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

学校を通じた紙媒体による返却

※詳細は帳票見本「実力診断テスト：個人診断レポート」（資料3）参照

(学力面)

- ・教科学力テストにおける今回と前回の「学習到達ゾーン」（以下 GTZ ※1）
- ・コース・科目ごとの得点／配点、校内での順位、受検者数、偏差値、平均点、全国での順位、受検者数、平均点を示すことで、相対的な比較での学力定着度を確認できます。
- ・過去に受検した「進路マップ実力診断テスト」及び弊社の他アセスメントとの GTZ による成績推移を示すことで、生徒自身の学力推移を確認できます。
- ・科目ごとの大問別成績（得点、配点、得点率、全国平均）および1つ上の GTZ に上がるための点数など、具体的事後学習をするきっかけを提示。目指すべき目標をスモールステップで示すことにより、受検者の学習意欲喚起を支援します。

※1：GTZ・・・「学習到達ゾーン」ベネッセが独自で設定している学力到達指標

(進路面)

- ・今回、前回それぞれの希望進路、希望系統、希望地域、こだわりを示すことで、過去からの意識変化と現状の確認ができ、志望理由や自己アピールポイントを考えるきっかけが作れます。
- ・学力結果をもとに進路可能性と結びつけることで、自分の進路について深く考えるきっかけが作れます。

(学習習慣・生活面)

- ・今回、前回それぞれの授業、出席、定期試験学習の様子や今回の起床・就寝時間など学力以外の多面的な情報も掲載し、学びに向かうための土台としての力が醸成されているかを確認できます。

(2)学校等への結果提供内容・方法

学校を通じた紙媒体および電子データによる返却

<学年・進路・教科担当の先生への提供内容・方法>

※詳細は帳票見本「実力診断テスト：学年診断・教科診断レポート」（資料1）等参照。

主に学年別のデータとして以下を中心に提供。

(学力面)

- ・コース、各教科でのGTZ度数分布（今回、過去回）
- ・過去と比較しての成績上昇者、下降者の人数・割合
- ・各教科の問題群別平均得点率（校内、全国）

(進路面)

- ・希望進路、こだわり度などのアンケート集計情報（今回、過去回）

(学習習慣・生活面)

- ・学習時間、授業への取り組み、定期試験学習への取り組み状況などのアンケート集計情報（今回、過去回）
- ・学力面および学習習慣・生活面のクラス別概況の情報

・学年集団としての学力面、進路面、学習習慣・生活面の状況を掲載することで、多面的把握および指導改善の力点をどこに置くかを見極めるための支援を行います。

・クラス別概況を示すことで、各クラスの傾向や注目ポイントを把握でき、クラス担任先生とのコミュニケーションをより深めるための支援を行います。

<クラス担任の先生への提供内容・方法>

※詳細は帳票見本「実力診断テスト：クラス診断レポート」（資料2）を参照

※クラスごとに冊子が分かれます

主にクラス別のデータとして以下を中心に提供。

(学力面)

- ・コース、各教科でのGTZ度数分布

(進路面)

- ・希望進路、こだわり度などのアンケート集計情報

(学習習慣・生活面)

- ・学習時間、授業への取り組み状況などのアンケート集計情報
- ・該当クラスの各生徒の学力面、進路面、学習習慣・生活面の概況を一覧化した情報
- ・該当クラスの褒めたい生徒、励ましたい生徒一覧

・クラス集団としての学力面、進路面、学習習慣・生活習慣面の状況を掲載することで、多面的把握および指導改善の力点をどこに置くかを見極めるための支援を行います。

・各生徒の概況を示すことで、各生徒の様子や成長のポイントを把握でき、クラス担任先生と生徒のコミュニケーションをより深めるための支援を行います。

電子データによる返却（専用無料Webサイト）

- ・教師用帳票の PDF データおよびそのもととなるローデータ（エクセル・CSV データ）について、専用無料 Web サイトに搭載。エクセル・CSV データについては、学校が必要に応じて加工等を行うことが可能。
- ・設置者等への報告資料の雛型となる書式及び今回の結果の振り返り情報をデータで提供予定です。この書式と情報をもとに学校で、設置者等への報告資料を作成できることを想定しています。
※書式イメージは帳票見本「設置者等への報告書フォーム」（資料 4）参照。

分析会の実施について

- ・実施校からの要望に応じて、各県の営業担当者中心に、結果報告会を実施。各校の結果を分析し、指導改善のためのアドバイスやプラン・情報の提供などを行います。

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

配点に基づいて得点合計を算出し提供しています。また、得点合計と合わせベネッセ学力テスト共通の指標である GTZ を提供しています。

<GTZ 設定方法>

「GTZ」は学年・回・タイプごとに決定しており、「A1～D3 -」の 18 段階で示しています。これまでの受検実績（受検母集団データより同一受検者を抽出）にもとづき、進研模試の「到達度指標」の設定にあわせて GTZ を設定しています。

<GTZ（学力の到達度）の目安>

進研模試の結果を参考に GTZ の各ゾーンについて次のような目安を設けています。

GTZ の目安は、各教科における到達度を大きく 5 段階に分けて必要とされる力を定義しています。段階ごとに、各教科の「〇〇できる」という定性評価を記載します。

（領域等毎の評価）

「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」について、それぞれの得点率を算出し提供しています。また、「思考力・判断力・表現力」に関する評価は次の通りです。

<「思考力・判断力・表現力」問題レベル定義」の設定方法と目安>

レベル定義は、4 段階で構成され、各教科問題における測定すべき力を定義しています。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

・ 複数名の作問スタッフが問題作成から検討までを行い、そのうえで、作問を行っていないチェック者が第三者的視点で、問題の質を吟味することで、出題の客観性が保たれています。また、これまでの過去の結果データを活かしつつ、難易のチェックを含めた作問をしているため、毎回同程度の難易を維持できています。

(2) 学校における実施方法

- ・ 弊社から学校に問題・アンケートなどの資材を送り、学校で実施していただく。マニュアル（教師用ガイド）や手引き（実施の手引き）等で迷いなく、指導・実施ができるように情報を提供。
- ・ 問い合わせ窓口を設けており質問を受け付けられるような体制を敷いています。
また、ベネッセの担当者が各拠点ごとに配置されており、実施にあたっての不明点や事前・事後指導等の確認、トラブル等への対応が学校単位でできるようになっています。
- ・ 実施方法について、統一実施日を設定しています。国語・数学・英語の3教科受検を推奨しているものの、教科単位で受検いただいた場合は、その教科についての成績を返却する。継続的な受検を前提としており、最新回の受検結果の中に、前回の受検結果も推移（過回比較）で掲載し、前回からの変化・変容を確認することを可能にしています。

(3) 採点の方法と体制

弊社では、採点ガイドラインに基づき、採点結果の信頼性の向上、採点の合理化、迅速化を図るため、種々の取組を実施しています。採点者は、学力と採点適性を見極めるための試験に合格し、年間を通じて研修や、実際の採点経験の中で様々なトレーニングを受け、採点スキルの向上を図ります。また、採点結果の信頼性の向上のため、定期的なサンプリング調査や個別のフィードバックを実施しています。

(4)情報管理体制

セキュリティ

- ベネッセは、ISO27001（情報セキュリティマネジメント）、JISQ15001（Pマーク）の認定を取得しています。各規格の要求事項を踏まえ、業務の構築・運用設計を行い、機密情報や個人情報に関する破損・紛失・漏えいリスクの低減や回避を図ります。
- 全体では、以下の観点でセキュリティ施策を実施します。

観点	概要
A. 人に関する施策	(1)ベネッセグループのセキュリティ規程研修の実施 (2)機密(個人)情報取り扱い各種ルールの遵守
B. 場所に関する施策	(1)ゾーニング施策によるセキュリティ水準確保 ①関係者以外の侵入防止と入退出管理・履歴取得 ②災害対策 ③情報隔離・持ち出し防止 ④保管・廃棄時の安全性確保 (2)拠点の設備・運用の安全性の確認
C. 工程に関する施策	(1)各工程で個別に配慮すべき施策内容・留意事項の確認 ①情報の取得(生成)時 ②情報の利用時 ③情報保管期間内 ④情報の移送(送信)時 ⑤情報の廃棄(消去)時
D. 電子的情報に関する施策	ベネッセセキュリティ基準に準じ、使用する情報機器のセキュリティ対策
E. 業務システムに関する施策	ベネッセのセキュリティ基準に則りセキュリティ施策を実施

緊急事態や不測の事態への対応

- 緊急事態や不測の事態へ対応するため、発生時の報告・連絡・相談体制をあらかじめ構築します。
- 事故・障害発生時に備えて、あらかじめ担当メンバーの緊急連絡網を作成し、重大事案発生時には速やかに事業推進責任者に報告を行い、対応の判断・指示をすることで、的確かつ迅速に対応し、影響を最小限に抑える体制を準備します。

IV. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

1 視覚障害のある受検者への配慮

受検校のご要望をうけ、準備期間をいただき、問題の点訳、一部資料の拡大対応を予定。弊社では従来のアセスメント実施で経験、実績のある対応です。

2 聴覚障害のある受検者への配慮

リスニング問題「聞くこと」実施に際し、音声と同じスクリプトを該当の受検者に見ていただける用意をして、解答できるよう対応します。

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

事前に教科学習と進路学習が行える教材として「学習・進路ノート」を提供。

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

アンケート「学習・進路チェック」があります。「進路意識」「学習と生活」「自分らしさ発見」の3テーマを中心に質問項目を設けています。

(4) 個人受検の可否

学校での指導を前提としたアセスメント教材であるため、個人受検はできません。

(5) 問題内容の情報提供

問題冊子と解答解説冊子は、受検後の振り返り等で自由に使っていただけます。

(6) その他

教育委員会等への情報提供に係る対応として、学校から教育委員会等への情報提供の元となる書式・集計結果を提供します。前提として、教育委員会等への情報提供は、ベネッセから直接は行えません。但し教育委員会主催の場合はこの限りではありません。

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

主な対象者: 四年制大学・短期大学・専門学校を含む各種の学校への進学から就職まで幅広い進路を目指す高校1年生・2年生・3年生

測定しようとする資質・能力

義務教育範囲も含め、

数学Ⅰ 「数と式」「図形と計量」「二次関数」「データ分析」

数学Ⅱ 「いろいろな式」「図形と方程式」「指数関数・対数関数」「三角関数」「微分・積分の考え」

数学A 「場合の数と確率」「図形の性質」「整数の性質」

数学B 「数列」「ベクトル」

に関する資質・能力 等

出題範囲:

高1・6月…義務教育範囲、および、高1の5月までの履修範囲からの出題

高1・10月…義務教育範囲、および、高1の9月までの履修範囲からの出題

高1・1月…高1の12月までの履修範囲からの出題

高2・6月…高2の5月までの履修範囲からの出題

高2・10月…高2の9月までの履修範囲からの出題

高2・1月…高2の12月までの履修範囲からの出題

高3・4月…高1・高2全履修範囲からの出題

高3・6月…高3の5月までの履修範囲からの出題

高3・9月…高3の8月までの履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、各実施月に応じた出題範囲を決定しています。

※一部選択大問を導入しているため、クラスや生徒個別の習熟状況に応じて、大問を選択することが可能。

主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

計算や公式を用いて解答する問題を、主に選択式・短答式で出題。

主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

数学の知識を用いて与えられた条件下における課題解決を問うたり、数式や言葉を用いて思考プロセスを説明したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題。

難易度: 平均40%前後の得点率となる難易度

(2)構成等

①出題形式

選択式 40%、短答式 30%、記述式 30%程度。

②出題範囲

※設問数、配点ともに同じ割合。

学年	回	義務教育範囲	必修科目範囲 (数学Ⅰ)	選択科目範囲	備考
高1	6月	75%	25%	0%	*1
	10月	75%	25%	0%	*1
	1月	25%	60%	15%	*2
高2	6月	25%	60%	15%	*2
	10月	25%	50%	25%	*2
	1月	25%	50%	25%	*2
高3	4月	25%	50%	25%	*2
	6月	25%	50%	25%	*2
	9月	25%	50%	25%	*2

(*1) 複数の選択大問があるため、義務教育範囲の割合が大きい受検パターンにて記載。

(*2) 複数の選択大問があるため、必修科目の割合が大きい受検パターンにて記載。

(3)難易度設定の考え方・方法

過去の結果データを参考にし、難易バランスを重視した作問により、全体で40%程度の得点率となるような難易度とします。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

テストの出題と、同程度の難易度・出題形式の問題を掲載した事前学習教材に取り組むことにより、出題範囲の基本事項をおさらいするとともに、難易度や形式に慣れたうえで、テストに臨むことができます。

(5)その他特長

高3の4月・6月・9月においては、理科（物理・化学・生物）、地歴公民（世界史・日本史・地理・現代社会）、加えて、就職するにあたって必要な語彙力、計算力、読解力を測定する「基礎・活用」も出題しています。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1)受検者個人への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2)学校等への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

(3)試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略) ※国語の申請様式参照

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 学校における実施方法

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 採点の方法と体制

(略) ※国語の申請様式参照

(4) 情報管理体制

(略) ※国語の申請様式参照

Ⅳ. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略) ※国語の申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略) ※国語の申請様式参照

(6) その他

(略) ※国語の申請様式参照

(様式2)

認定要件への適合性の申告内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

(1)出題の基本方針

主な対象者: 四年制大学・短期大学・専門学校を含む各種の学校への進学から就職まで幅広い進路を目指す高校1年生・2年生・3年生

測定しようとする資質・能力

「聞くこと」に関する資質・能力、「読むこと」に関する資質・能力、「話すこと」に関する資質・能力、「書くこと」に関する資質・能力 等

出題範囲:

高1・6月…義務教育範囲、および、高1の5月までの履修範囲からの出題

高1・10月…義務教育範囲、および、高1の9月までの履修範囲からの出題

高1・1月…高1の12月までの履修範囲からの出題

高2・6月…高2の5月までの履修範囲からの出題

高2・10月…高2の9月までの履修範囲からの出題

高2・1月…高2の12月までの履修範囲からの出題

高3・4月…高1・高2全履修範囲からの出題

高3・6月…高3の5月までの履修範囲からの出題

高3・9月…高3の8月までの履修範囲からの出題

※実施校に対する指導状況の調査から、全国の高等学校の履修状況を把握し、各実施月に応じた出題範囲を決定します。

主として「知識・技能」を問う問題の出題方針:

英単語や文法、聞き取り、読み取りの問題を、主に選択式・短答式で出題。

主として「思考力・判断力・表現力」等を問う問題の出題方針:

文章や図表等から得られた情報をもとに推論するなど思考を求めたり、自分の考えを英語で記述・口述したりする問題を、選択式・短答式・記述式で出題。

難易度:

・平均40%前後の得点率がとれる難易度

・CEFRにおける「A1~A2」程度

(2)構成等

①出題形式

選択式 50 %、短答式 25%、記述式 25%程度。

Listening：すべて選択式（8問程度）。リスニング CD による音声放送。

欠席者対応として「会話表現」での受検が可能。

Reading：すべて選択式（20問程度）

Writing：選択式 7割程度（3問程度）、記述式 3割程度（2問程度、10～20語程度）。

Speaking：対面式または学校の PC を利用した録音方式。（7問程度）。

実施・録音のための USB、ヘッドホンマイクは貸出。

※「対面式」については、測定することに代えて問題、解答例および採点基準を提供。

※3年4月・6月・9月については「対面式」のみ。

②出題範囲

※設問数、配点ともに同じ割合。

実施学年月	義務教育範囲	必履修科目範囲 (コミュニケーション英語Ⅰ)	選択科目範囲 (コミュニケーション英語Ⅱ)	備考
1年6月	75%	25%	0%	
1年10月	75%	25%	0%	
1年1月	60%	40%	0%	
2年6月	60%	40%	0%	
2年10月	60%	40%	0%	
2年1月	40%	50%	10%	
3年4月	40%	50%	10%	
3年6月	40%	50%	10%	
3年9月	40%	50%	10%	

(3)難易度設定の考え方・方法

過去の結果データを参考に、難易バランスを調整、重視した作問により、全体で40%程度の得点率がとれるような難易度に設定しています。

(4)基礎学力の定着や学習意欲の喚起を図るための工夫

テストの出題と、同程度の難易度・出題形式の問題を掲載した事前学習教材に取り組むことにより、出題範囲の基本事項をおさらいするとともに、難易度や出題形式に慣れたうえで、解答に臨むことができます。

(5)その他特長

高3の4月・6月・9月においては、理科（物理・化学・生物）、地歴公民（世界史・日本史・地理・現代社会）、加えて、就職するにあたって必要な語彙力、計算力、読解力を測定する「基礎・活用」も出題しています。

Ⅱ. 結果提供に関すること

(1) 受検者個人への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 学校等への結果提供内容・方法

(略) ※国語の申請様式参照

英語結果については、「対面式」の場合、先生のみに技能別でも行います。

また、録音方式の場合、先生・生徒に技能別でも行います。

(3) 試験等の結果(正答状況やスコア等)に対する評価の考え方と分析の手法

(略) ※国語の申請様式参照

＜「英語スピーキングテストのレベル定義」の設定方法と目安＞

レベル定義は、4段階で構成され、各教科問題における測定すべき力を定義しています。

Ⅲ. 運営に関すること

(1) 問題の質を確保するための方法

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 学校における実施方法

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 採点の方法と体制

(略) ※国語の申請様式参照

(4) 情報管理体制

(略) ※国語の申請様式参照

Ⅳ. 情報開示に関すること

(1) 障害のある受検者等への配慮

(略) ※国語の申請様式参照

(2) 事前／事後学習教材の有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(3) 学習状況等のアンケートの有無、内容

(略) ※国語の申請様式参照

(4) 個人受検の可否

(略) ※国語の申請様式参照

(5) 問題内容の情報提供

(略) ※国語の申請様式参照

(6) その他

(略) ※国語の申請様式参照

(様式3)

認定要件への適合性を示す書類等一覧について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト
対象教科:国語・数学・英語
測定内容の区分:標準タイプ

I. 出題に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準					
			I.(1)	I.(2)	I.(3)	I.(4)	I.(5)	

II. 結果提供に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号	対応する認定基準	
			II.(1)	II.(2)
帳票見本:教師用	実力診断テスト:学年診断・教科診断レポート 実力診断テスト:クラス診断レポート ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料1 資料2		○
帳票見本:生徒用	実力診断テスト:個人診断レポート ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料3	○	
帳票見本:(設置者等報告用)	設置者等への報告書フォーム ※見本は作成中のイメージです。19年度に向けて開発予定です。	資料4		○

III. 運営に関すること

<提出必須の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号
実施要項(試験時間、実施方式、実施期間、受検料、標準返却期間等)	実施案内書 ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料5
学校用実施マニュアル	実施の手引き ※見本は18年度版です。19年度に向けて改訂予定です。	資料6

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号

IV. 情報開示に関すること

<提出任意の書類等>

書類等の内容	書類等の名称	資料番号



実力診断テスト

2年生4月
記述式

のご案内

特長

1

「学力」と「進路意識」を低学年から積み上げる教材構成
だから 生徒の可能性を発見できる!

2

「高校教科書レベル」から「入試レベル」までの幅広い出題
だから 学年全員で受験できる!

料金および実施可能期間・お申し込み締切日

※記載された金額には、消費税等を含んでいます。

学力テスト	ご請求額	標準受験料	実施可能期間		お申し込み締切日
実力診断テスト	1,750円	2,050円	2年生 4月	4月1日(日)~4月30日(月)	実施日の15日前

■2年生4月について

結果を早く返却し、年度始めの学力把握にご活用いただくため、次のような簡易の出題・成績処理を行っています。

- 過去の「実力診断テスト」で出題された問題を使用しています。
- 当該年度母集団での全国集計は行いません。過去に出題した際の全国データをもとに算出した「全国偏差値」「全国順位」を個人診断レポートに表示します(「インターネットフォルダ」に掲載する成績結果データに全国集計結果は含まれません)。
- 専門高校別集計は行いません。

オプション機能について

※いずれも特別な申し込みは必要ありません。

■学校オリジナル質問

学校で行われている調査や、テストご実施時期に合わせた質問など、学校独自に設定した質問項目について、「進路マップ」の回答用紙・回答欄を利用して実施します。生徒の回答結果は「インターネットフォルダ」[FINE SYSTEM]を通じてお届けします。

- 最大20問まで設定可能です(一問一答形式)。
- 回答は、受験カードに記入してください。
- CSV形式で取り出した回答結果は、専用のマクロを使って集計することができます。

■専門高校別集計

同じ科・コースの生徒を母集団とし、県・ブロック別に集計します。

同じ科・コースで学ぶ全国・地域の高校生の中で、よりリアルに学校・生徒の位置をとらえることができます。

対象学科

- 普通科、商業科、工業科、農業科、水産科、家庭科、看護科、福祉科、総合学科

集計方法

- 受験時に、生徒が所属する科・コースを「受験カード」上で選択。
- 集計結果は「インターネットフォルダ」[FINE SYSTEM]を通じてCSV形式でお届けします。

ご注意

- 弊社に「受験カード」を返送された後で、科・コースの修正はできません(記入された科・コースに属する生徒として集計されます)。必ず正しい科・コースを選択するようご指示ください。

[FINE SYSTEM]に関するお問い合わせは

FINEヘルプデスク

TEL ▶ 0120-350220 (通話料無料)

受付時間/月~金 9:00~18:00 (祝日、年末・年始を除く)

詳しい教材内容については「Benesse High School Online」にも掲載しています。

<https://bhso.benesse.ne.jp/>

※ご利用には、学校ID・ログインコードまたは先生個人ID・パスワードが必要です。

実施の流れ

お客様サービスセンター
0120-350455 (通話料無料)

受付時間 / 月～金 8:00～19:00
土 8:00～17:00
(祝日、年末・年始を除く)

実施前



FAX (またはお電話・WEB) でお申し込み

お申し込み締切日	2年生4月
	実施日の15日前

※お申し込み後に、お申し込み部数をFAXで確認させていただきます。

お届けするもの

- | | | |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 問題冊子 | <input type="checkbox"/> クラス担任活用ガイド | 他 |
| <input type="checkbox"/> 解答解説 | <input type="checkbox"/> 実施の手引き | |
| <input type="checkbox"/> 学習・進路ノート ^{※1} / 解答解説 | ※1 テストに向けた教科演習問題と進路観を育成する内容を1冊にまとめた教材です。 | |
| <input type="checkbox"/> 学習・進路チェック ^{※2} | ※2 多様な角度から生徒の状況を確認するアンケートです(実施時間30分目安)。 | |
| <input type="checkbox"/> 受験カード | | |

実施



実施

事前準備

問題と一緒にお届けする「実施の手引き」をご確認ください。
実施にあたっての手順、注意事項等をまとめています。

※お早めに部数等をご確認ください。万一不足がございましたら、「お客様サービスセンター」までご連絡ください。

実施可能期間

2年生4月

4月1日(日)～4月30日(月)

実施後



結果のお届け

お届けするもの

個人診断レポート、答案、教師用資料 他

2017年12月現在の予定ですので、今後変更する可能性があります。スケジュールに関するお問い合わせは、「お客様サービスセンター」までお願いします。

	弊社答案到着 締切日	FINE SYSTEM データリリース予定日	成績資料 発送予定日
2年生4月*	①4月 16日(月)	①5月 2日(水)	①5月 7日(月)
	②4月 23日(月)	②5月 9日(水)	②5月 11日(金)
	③5月 1日(火)	③5月 17日(木)	③5月 19日(土)
	④5月 8日(火)	④5月 18日(金)	④5月 21日(月)

※学校から弊社への答案到着日によって、「FINE SYSTEMデータリリース予定日」「成績資料発送予定日」が異なります。

*2017年度より、学校でのCD-ROMの紛失リスクをなくし、いつでもパソコンからご確認いただけるよう、成績結果データは「インターネットフォルダ」にてご提供に変更となりました。
「インターネットフォルダ」はテスト受験結果など個人情報を扱うサービスです。ご利用になるには、先生個人ID登録が必要となります。詳しくはBenesse High School Online(<https://bhso.benesse.ne.jp/>)、または「WEBサポートデスク:0120-350124(通話料無料)」にてご確認ください。

出題分野

※この出題分野は2017年12月現在のものです。今後変更する可能性があります。
4月回は、過去の「実力診断テスト」で出題された問題を使用しています。

国語 (50分)

100点

回		大問	出題分野
4月	必 答	1	現代文・知識
		2	現代文・評論
		3	現代文・小説
	選択問題 1題選択	4	古文
		5	現代文・随筆

英語 (50分)

100点

回		大問	出題分野
各回 共通	選択問題 1題選択	1	リスニング
		2	会話表現
	必 答	3	発音・アクセント
		4	文法・語い語法
		5	読解
		6	表現力

※リスニングテストの所要時間は約9～10分です。

数学 (50分)

100点

回		大問	出題分野	
4月	必 答	1	数と式、2次関数*	I
		2		
	選択問題 2題選択	3	数と式	I
		4	2次関数	I
		5	図形と計量	I
		6	場合の数と確率	A
		7	図形の性質	A

※中学校の範囲の内容を含むことがあります。

お申し込み方法

FAXでのお申し込み

0120-350470 (通話料無料)

●「お申し込み締切日」までに、上記FAX番号へご送信ください。

2018年度版
2年4月「実力診断テスト」申込書 (記述式)

1 今年度の申し込みのテストをご確認ください。
2 実施予定日
3 学校からの答案発送予定日
4 受験者総数
5 教員用予備部数
6 教科別受験人数
7 英語リスニングテスト実施用CD枚数
8 クラス担任活用ガイド部数
9 先生用帳票部数

※必ずご記入ください。

- 1 都道府県名・貴校名・電話番号
・お手数ですが、お間違えのないようご記入ください。
- 2 先生名
・問題などの発送の宛名になります。
- 3 お申し込みのテスト
・今回お申し込みのテストをご確認ください。
- 4 ご実施予定日
・月・日をご記入ください。
- 5 学校からの答案発送予定日
・月・日をご記入ください。
・原則、実施日の翌営業日(土、日、祝日、年末・年始を除く)を設定してください。
- 6 受験者総数
・受験者の総人数をご記入ください。
- 7 教師用予備部数
・40人につき1セットを目安にご記入ください。
・ご記入がない場合は、40人に1セットの割合でお届けします。
- 8 教科別受験人数
・教科別の受験人数をご記入ください。

※必要な場合にご記入ください。

- 7 英語リスニングテスト実施用CD枚数
・1校につき、2枚を原則とさせていただきます。
・異なる場合は、「2」を二重線で消して必要枚数をご記入ください。
- 8 クラス担任活用ガイド部数
・1校につき、15部を原則とさせていただきます。
・異なる場合は、「15」を二重線で消して必要部数をご記入ください。
- 9 先生用帳票部数
・1部か2部を選択いただけます。ご希望が異なる場合は、「○」を二重線で消して修正してください。
※個人帳票は2部ずつお届けします。

ホームページからのお申し込み

●Benesse High School Online からご利用いただけます。

簡単!
WEBでの
お申し込み

ホームページアドレス <https://bhsso.benesse.ne.jp/>

※お申し込みには、学校ID・ログインコード または 先生個人ID・パスワードが必要です。
※ホームページメンテナンス期間は入力できません。

★前年度や前回の申し込み履歴がいつでも確認できます! ★年間分をまとめてお申し込みいただけます!

ご送金方法

郵便振替用紙(手数料弊社負担)をご利用のうえ、お申し込みと同時に郵便局よりご送金ください。
郵便局がお渡する「振替払込請求書兼受領証」は貴校の控えとなりますので、大切に保管してください。

2017年3月より、請求書等が上記WEBよりダウンロードできるようになりました。

▲郵便振替用紙記入例

お客様サービスセンター

0120-350455 (通話料無料)

受付時間/月～金 8:00～19:00、土 8:00～17:00
(祝日、年末・年始を除く)

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 実力診断テスト 1年6月-1年1月

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、漢字や語彙（類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）を理解し、適切に使ったり、古典の文章（古文）を読むにあたり、必要な文語の決まり（自立語・付属語の知識）や、基礎的な古語・古典常識を理解することができる。	【設問数】12問（程度） 【出題形式】選択式・短答式	関する事項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に	<p>中学校学習指導要領 国語〔第1学年〕</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(ウ) 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、話や文章の中の語彙(い)について関心をもつこと。</p> <p>中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p> <p>イ 言葉の特徴やきまりに関する事項</p> <p>(イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p>
	【設問数】10問（程度） 【出題形式】選択式・短答式	項国語 〔伝統的な言語文化と	<p>国語総合</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>ウ 漢字に関する事項</p> <p>(ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。</p>

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、文章に即して漢字を読んだり適切な漢字を書いたり、文章の内容や筆者の主張・要旨を的確に読み取ったり、筆者の主張やその主張の根拠を捉えることができる。	【設問数】3問(程度) 【出題形式】選択式・短答式	るの語〔伝統的な言語文化に関する事項〕	中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。
	【設問数】3問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。
	【設問数】2問(程度) 【出題形式】記述式	C B 読むこと 書くこと	国語総合 B 書くこと イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
文学的な文章を読み、文章に即して語句の意味を正しくとらえるたり、描かれている人物、情景、心情などを表現に即して読み取ったりすることができる。	【設問数】 2 問 (程度) 【出題形式】 選択式・短答式	項質文「 領文化〔伝 域に化と統 又は関統的 事する語 特の言 語事語	中学校学習指導要領 国語〔第2学年〕 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (イ) 抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語感を磨き語彙を豊かにすること。
	【設問数】 2 問 (程度) 【出題形式】 選択式	C 読 む こ と	中学校学習指導要領 国語〔第3学年〕 C 読むこと ア 文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと。 イ 文脈の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。
	【設問数】 2 問 (程度) 【出題形式】 記述式	C B 読 書 む く こ と こ と	国語総合 B 書くこと イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうと。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 実力診断テスト 2年6月-2年1月

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定内容の区分：標準タイプ 測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、漢字や語彙（類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）を理解し、適切に使うことができる。	【設問数】15問（程度） 【出題形式】選択式・短答式	関する事項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 （ア） 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること （イ） 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 （ア） 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
論理的な文章について、文章に即して漢字を読んだり適切な漢字を書いたり、文章の内容や筆者の主張・要旨を的確に読み取り、筆者の主張やその主張の根拠を捉えることができる。	【設問数】3問(程度) 【出題形式】選択式・短答式	語〔伝統的な言語文化と国語〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること (イ) 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。
	【設問数】3問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や記述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
	【設問数】2問(程度) 【出題形式】記述式	C B 読むこと 書くこと	国語総合 B 書くこと イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
古典の文章（古文）について、 <u>必要な文語の決まり（自立語・</u> <u>付属語の知識）や、基礎的な古</u> <u>語・古典常識を理解し、描かれ</u> <u>ている人物、情景、心情および</u> <u>展開、要旨などを表現に即して</u> <u>読み取ることができる。</u>	【設問数】 2問（程度） 【出題形式】 選択式・短 答式 サンプル問題 1	るの語「 事特文伝 項質化統 」にとの 関国な す語言	国語総合 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ いて気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
	【設問数】 2問（程度） 【出題形式】 選択式 サンプル問題 1	特「C 質伝 に統読 関的む するな こと 事語文 項」化と 国語の	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要 約や記述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう こと。 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ いて気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
	【設問数】 2問（程度） 【出題形式】 記述式 サンプル問題 1	る「C B 事伝 統読書 項」的むく なこと こと 言語 文化と 国語の 特質に 関す	国語総合 B 書くこと イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にま とめること。 ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を 考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要 約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう こと。 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ いて気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、 <u>必要な決まり（訓読のルール、 基本的な句形・語彙など）を理 解し、描かれている人物、情景、 心情および展開、要旨などを表 現に即して読み取る</u> ことがで きる。	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 選択式・短 答式 サンプル問題 2	質文化「 文化と に関する 事項」 質文化「 に関する 事項」	国語総合 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ いて気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げるこ と。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 選択式 サンプル問題 2	質文化「 に関する 事項」 質文化「 に関する 事項」	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要 約や記述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう こと。 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ いて気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げるこ と。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。
	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 記述式	質文化「 に関する 事項」 質文化「 に関する 事項」	国語総合 B 書くこと ア 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考え方を文章 にまとめること。 ウ 対象を明確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方 を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要 約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わう こと。 [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係につ いて気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げるこ と。 (イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 実力診断テスト 3年4月-3年9月

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

測定内容の区分：標準タイプ 測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
与えられた文章に即して、漢字や語彙（類義語・対義語、同音異義語、多義語、抽象語の使い方など）を理解し、適切に使うことができる。	【設問数】16問（程度） 【出題形式】選択式・短答式	関する事項 〔伝統的な言語文化と国語の特質に〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 （ア） 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること （イ） 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 （ア） 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は 事項	科目名及び内容
論理的な文章について、文章に即して漢字を読んだり適切な漢字を書いたり、文章の内容や筆者の主張・要旨を的確に読み取ったり、筆者の主張やその主張の根拠を捉えたりすることができる。	【設問数】5問(程度) 【出題形式】選択式・短答式	語〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕	国語総合 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕 イ 言葉の特徴やきまりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること (イ) 文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。
	【設問数】3問(程度) 【出題形式】選択式	C 読むこと	国語総合 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。
	【設問数】2問(程度) 【出題形式】記述式	C B 読むこと 書くこと	国語総合 B 書くこと イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。 ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の工夫を考えて書くこと。 C 読むこと ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。 イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。 ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目
		科目名及び内容
古典の文章（古文）について、 <u>必要な文語の決まり（自立語・</u> <u>付属語の知識）や、基礎的な古</u> <u>語・古典常識を理解し、描かれ</u> <u>ている人物、情景、心情および</u> <u>展開、要旨などを表現に即して</u> <u>読み取る</u> ことができる。	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 選択式・短 答式	古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。
	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 選択式	古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。
	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 記述式	古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目
		科目名及び内容
古典の文章（漢文）について、 <u>必要な決まり（訓読のルール、 基本的な句形・語彙など）を理 解し、描かれている人物、情景、 心情および展開、要旨などを表 現に即して読み取ることがで きる。</u>	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 選択式・短 答式	古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。
	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 選択式	古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。
	【設問数】 2 問（程度） 【出題形式】 記述式	古典A イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 古典B ア 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解すること。 イ 古典を読んで、内容を構成や展開に即して的確にとらえること。 ウ 古典を読んで、人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。 エ 古典の内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察すること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年6月-1年10月 (複数の選択大問があるため、受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>累乗の計算を含む、簡単な正の数と負の数の四則演算をすることができる。</u>	【設問数】2問(程度) 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 [第1学年] 2 A (1) ウ 正の数と負の数の四則計算をすること。
<u>与えられた具体的な関数$y=ax^2$を表す正しいグラフを選択することができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学 [第3学年] 2 C (2) イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。
<u>中心角と円周角の関係をもとに、与えられた円周角の大きさから、中心角の大きさを求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	B 図形	中学校学習指導要領 数学 [第3学年] 2 B (2) ア 円周角と中心角の関係の意味を理解し、それが証明できることを知ること。
<u>度数分布表から情報を読み取り集団の傾向を把握することができる。</u>	【設問数】4問(程度) 【出題形式】短答式	D 資料の活用	中学校学習指導要領 数学 [第1学年] 2 D (1) ア ヒストグラムや代表値の必要性和意味を理解すること。 イ ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
日常的な事象において、条件を満たす式について文字を用いて表すことができる。	【設問数】2問(程度) 【出題形式】短答式	A 数と式	中学校指導要領 数学〔第1学年〕 2 A (2) エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。
日常的な事象において、連立方程式を解いて、条件を満たすような値を求めることができる。	【設問数】1問(程度) 【出題形式】記述式	A 数と式	中学校指導要領 数学〔第2学年〕 2 A (2) ウ 簡単な連立二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。
与えられた具体的な関数 $y=ax^2$ について、 x の値に対応する y の値を求めることができる。	【設問数】2問(程度) 【出題形式】選択式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 C (2) イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。
座標平面上の関数 $y=ax^2$ のグラフ上の点を頂点とする三角形の面積について求めることができる。	【設問数】2問 【出題形式】記述式	C 関数	中学校学習指導要領 数学〔第2学年〕 2 C (1) イ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。 中学校学習指導要領 数学〔第3学年〕 2 C (2) イ 関数 $y=ax^2$ について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
不等式の性質を利用して、簡単な一次不等式が解ける。	【設問数】2問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	<p>数学 I</p> <p>2 (1)</p> <p>イ式</p> <p>(イ) 一次不等式</p> <p>不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
与えられた無理数と整数の大小関係を評価して、不等式を満たすような整数を考察することができる。	【設問数】2問 【出題形式】記述式		<p>数学 I</p> <p>2 (1)</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(ア) 実数</p> <p>数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>イ式</p> <p>(イ) 一次不等式</p> <p>不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年1月-2年6月 (複数の選択大問があるため,受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>文字を含む式の累乗の表し方を理解し,簡単な計算ができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学〔第1学年〕 2 A (2) イ 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。
<u>鋭角の正弦と余弦の値を求めることができる。</u>	【設問数】1問(程度) 【出題形式】選択式	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 三角比 (ア) 鋭角の三角比 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解すること。
<u>因数分解の公式を用いて,簡単な式の因数分解ができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式	(1) 数と式	数学 I 2 (1) ア 数と集合 (イ) 集合 集合と命題に関する基本的な概念を理解し,それを事象の考察に活用すること。 イ 式 (ア) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め,式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>与えられた規則から論理的に考察し当てはまる数を予測することができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校学習指導要領 数学 [第 2 学年] 2 A (1) イ 数量及び数量の関係をとらえるために文字式を利用できることを理解すること。
<u>三角比の公式を用いて三角形の辺の長さや面積を求めることができる。</u>	【設問数】 3 問 (程度) 【出題形式】 短答式 サンプル問題 1(1)	(2) 図形と計量	数学 I 2 (2) ア 三角比 (イ) 正弦定理・余弦定理 正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。
日常的な事象において、 <u>条件を満たすような式を文字を用いて表すことができる。</u>	【設問数】 2 問 (程度) 【出題形式】 短答式 サンプル問題 1(2)	A 数と式	中学校指導要領 数学 [第 1 学年] 2 A (2) エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。
日常的な事象において、 <u>一次不等式を解いて、条件を満たすような値を求めその過程を説明することができる。</u>	【設問数】 1 問 (程度) 【出題形式】 記述式 サンプル問題 1 (2)	(1) 数と式	数学 I 2 (1) イ 式 (イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
平方完成について理解し、 <u>二次関数のグラフの頂点を求めることができる。</u>	【設問数】2問(程度) 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。
二次関数のグラフの平行移動について理解し、 <u>二次関数を平行移動して得られるグラフの関数を求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】記述式		
<u>順列について理解し、簡単な場合の数を求めることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】選択式 サンプル問題 2(1)	(1) 場合の数と確率	数学 A 2 (1) ア 場合の数 (ア) 数え上げの原則 集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解すること。 (イ) 順列・組合せ 具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めること。
<u>事象を考察する際に順列と組合せについて理解し、事象をものごとく数え上げることができる。</u>	【設問数】2問 【出題形式】記述式 サンプル問題 2(2)(3)		

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 2年10月-3年9月 (複数の選択大問があるため、受検者の多い受検パターンを記載)

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>数と式で学習する定理・公式や計算法則を用いて、因数分解や展開、無理数の演算をしたり、方程式・不等式の解を求めたりすることができる。</u>	【設問数】 4問 【出題形式】 選択式	A 数と式	中学校指導要領 数学〔第3学年〕 2 A (1) イ 数の平方根を含む簡単な式の計算をすること。 2 A (2) イ 簡単な一次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすること。 $(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ $(a-b)^2=a^2-2ab+b^2$ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ $(x+a)(x+b)=x^2+(a+b)x+ab$ 2 A (3) イ 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
			<p>数学 I</p> <p>2 (1)</p> <p>ア 数と集合</p> <p>(ア) 実数 数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすること。</p> <p>イ 式</p> <p>(イ) 式の展開と因数分解 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深め、式を多面的にみたり目的に応じて式を適切に変形したりすること。</p> <p>(イ) 一次不等式 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。</p>
<p><u>与えられた情報を分類・整理し正しい条件を推測することができる。</u></p>	<p>【設問数】 1 問</p> <p>【出題形式】 選択式</p>	<p>C</p> <p>数量関係</p>	<p>中学校学習指導要領 数学 【第 2 学年】</p> <p>2 C (2)</p> <p>ア 起こり得る場合を順序よく整理することができること。</p>

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<u>与えられたデータの代表値を求めることができる。</u>	【設問数】3問(程度) 【出題形式】短答式	分析(4) データの	数学 I 2 (4) ア データの散らばり 四分位偏差, 分散及び標準偏差などの意味について理解し, それらを用いてデータの傾向を把握し, 説明すること。
<u>事象の規則性を文字を使って説明することができる。</u>	【設問数】2問 【出題形式】短答式	A 数と式	中学校指導要領 数学〔第2学年〕 2 A (2) イ 数量及び数量の関係をとらえるために文字式を利用できることを理解すること。
<u>事象の規則性を文字を使って説明し, 説明を振り返って考えることができる。</u>	【設問数】1問 【出題形式】記述式	A 数と式	中学校指導要領 数学〔第2学年〕 2 A (2) イ 数量及び数量の関係をとらえるために文字式を利用できることを理解すること。 ウ 目的に応じて, 簡単な式を変形できること。
<u>二次関数のグラフの軸や頂点を求めることができる。</u>	【設問数】2問(程度) 【出題形式】選択式	(3) 二次関数	数学 I 2 (3) ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また, 二次関数のグラフの特徴について理解すること。

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
定義域が指定された <u>二次関数</u> において <u>最大値や最小値を求</u> <u>めることができる。</u>	【設問数】 1 問 【出題形式】 記述式	(3) 二次関数	数学Ⅰ 2 (3) ア 二次関数とそのグラフ 事象から二次関数で表される関係を見いだすこと。また、二次関数のグラフの特徴について理解すること。
<u>座標平面上の二点の距離や中</u> <u>点を求めることができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 選択式	(2) 図形と方程式	数学Ⅱ 2 (2) ア 直線と円 (ア) 点と直線 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。また、座標平面上の直線を方程式で表し、それを二直線の位置関係などの考察に活用すること。
<u>円の方程式を用いて円と方程式</u> <u>の位置関係について調べる</u> <u>ことができる。</u>	【設問数】 2 問 【出題形式】 記述式	(2) 図形と方程式	数学Ⅱ 2 (2) ア 直線と円 (イ) 円の方程式 座標平面上の円を方程式で表し、それを円と直線の位置関係などの考察に活用すること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:(株)ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ実力診断テスト 1年6月-1年10月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・複数の人物による会話や状況を説明する文を聞いて、 <u>その場面や状況、会話の流れなどを推測することができる。</u>	【設問数】8問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 6問 コミュニケーション英語 I 2問 【CEFR】A1程度	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ア 聞くこと (イ)自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。 コミュニケーション英語 I 2内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
・英語の単語の正しい発音、 <u>アクセントを理解して使用することができる。</u>	【設問数】4問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 【CEFR】A1程度	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) イ 話すこと (ア)強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・ <u>文法や語彙・語法を正しく理解して使用することができる。</u></p>	<p>【設問数】13問(程度) 【出題形式】 選択式、短答式 【出題数の割合】 義務教育範囲 10問 コミュニケーション英語 I 3問 【CEFR】A1程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>コミュニケーション英語 I 2内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・まとまりのある文章を読んで、<u>内容、テーマや概要をとらえることができる。</u></p>	<p>【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式・短答式・記述式 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 コミュニケーション英語 I 2問 【CEFR】A1～A2程度</p>	<p>読むこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり, その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し, 適切に応じること。</p> <p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。また, 聞き手に伝わるように音読する。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた日本文の意味と、正しい文法・語彙・語法知識から、<u>英文を構築</u>することができる。</p>	<p>【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】A1程度</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) エ 書くこと (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 コミュニケーション英語 I 2内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>
<p>・与えられた情報について、<u>英語で正しく表現</u>することができる。</p>	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 コミュニケーション英語 I 2問 【CEFR】A1～A2程度</p>		

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」を<u>する</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 4問～7問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問～5問 (程度) コミュニケーション英語 I 1問 ～2問 (程度) 【CEFR】 A1程度</p>	<p>話すこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) イ 話すこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち, 事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて, 問答したり意見を述べ合ったりなどすること。</p> <p>コミュニケーション英語 I (1) イ 説明や物語などを読んで, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。また, 聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ実力診断テスト 1年1月-2年10月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・複数の人物による会話や状況を説明する文を聞いて、 <u>その場面や状況、会話の流れなどを推測することができる。</u>	【設問数】8問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 コミュニケーション英語I 4問 【CEFR】A1~2程度 <u>サンプル問題1</u>	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) ア 聞くこと (イ) 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。 コミュニケーション英語I 2内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・英語の<u>単語の正しい発音、アクセント</u>を理解して使用することができる。</p>	<p>【設問数】4問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 【CEFR】A1程度</p>	<p>話すこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) イ 話すこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。</p>
<p>・<u>文法や語彙語法を正しく理解</u>して使用することができる。</p>	<p>【設問数】13問(程度) 【出題形式】 選択式、短答式 【出題数の割合】 義務教育範囲 8問 コミュニケーション英語 I 5問 【CEFR】A1程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 コミュニケーション英語 I 2内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文, つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・まとまりのある文章を読んで、その内容、テーマや概要を<u>とらえる</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】7問(程度) 【出題形式】 選択式・短答式 サンプル問題 2 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 コミュニケーション英語 I 3問 【CEFR】A1～A2程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (イ)書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 (ウ)物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (エ)伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。</p> <p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・与えられた日本文の意味と、正しい文法・語彙・語法知識から、英文を構築することができる。	<p>【設問数】3問(程度)</p> <p>【出題形式】 選択式(整序)</p> <p>【出題数の割合】 義務教育範囲 3問</p> <p>【CEFR】A1程度</p>	書くこと	<p>中学校学習指導要領 外国語</p> <p>2内容</p> <p>(1) エ 書くこと</p> <p>(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。</p> <p>(オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。</p>
・与えられた情報について、英語で正しく表現することができる。	<p>【設問数】2問(程度)</p> <p>【出題形式】 記述式</p> <p>サンプル問題 3</p> <p>【出題数の割合】 コミュニケーション英語 I 2問</p> <p>【CEFR】A1～A2程度</p>		<p>コミュニケーション英語 I</p> <p>2内容</p> <p>(1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>(2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」を<u>する</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 4問～7問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問～ 5問 (程度) コミュニケーション英 語 I 1問～2問 (程度) 【CEFR】A1～2程度</p> <p>サンプル問題 4</p>	<p>話すこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) イ 話すこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち, 事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて, 問答したり意見を述べ合ったりなどすること。</p> <p>コミュニケーション英語 I (1) イ 説明や物語などを読んで, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。また, 聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力の具体的内容について

事業者名:(株)ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ実力診断テスト 2年1月-3年9月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

測定しようとする資質・能力の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
・複数の人物による会話や状況を説明する文を聞いて、 <u>その場面や状況、会話の流れなどを推測することができる。</u>	【設問数】 8問(程度) 【出題形式】 選択式 ※リスニング 【出題数の割合】 義務教育範囲 2問 コミュニケーション英語 I 6問 【CEFR】 A1~2 程度	聞くこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ア 聞くこと (イ)自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。 コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。
・英語の単語の正しい発音、 <u>アクセントを理解して使用することができる。</u>	【設問数】 4問(程度) 【出題形式】 選択式 【出題数の割合】 義務教育範囲 4問 【CEFR】 A1 程度	話すこと	中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) イ 話すこと (ア)強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音すること。

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・<u>文法や語彙語法を正しく理解して使用することができる。</u></p>	<p>【設問数】13問(程度) 【出題形式】 選択式、短答式 【出題数の割合】 義務教育範囲 5問 コミュニケーション英語 I 8問 【CEFR】A1程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) エ 書くこと (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 コミュニケーション英語 I 2内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・まとまりのある文章を読んで、<u>その内容、テーマや概要をとらえることができる。</u></p>	<p>【設問数】5問(程度) 【出題形式】 選択式・短答式 【出題数の割合】 義務教育範囲 1問 コミュニケーション英語Ⅰ 2問 コミュニケーション英語Ⅱ 2問 【CEFR】A1～A2程度</p>	<p>読むこと・書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。 (エ) 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。</p> <p>コミュニケーション英語Ⅰ 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。</p> <p>コミュニケーション英語Ⅱ 2 内容 (2) ウ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞いたり読んだりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・与えられた日本文の意味と、正しい文法・語彙・語法知識から、<u>英文を構築することができる。</u></p>	<p>【設問数】3問(程度) 【出題形式】 選択式(整序) 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問 【CEFR】A1程度</p>	<p>書くこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) エ 書くこと (イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。 (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。</p>
<p>・与えられた情報について、<u>英語で正しく表現することができる。</u></p>	<p>【設問数】2問(程度) 【出題形式】 記述式 【出題数の割合】 コミュニケーション 英語 I 2問 【CEFR】A1～A2程度</p>		<p>コミュニケーション英語 I 2内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>

(様式4)

測定しようとする資質・能力 の具体的内容	設問数、出題形式等	(参考) 学習指導要領の関連項目	
		領域又は事項	科目名及び内容
<p>・日常的な話題や社会的な話題で、「やり取り」や「発表」を<u>する</u>ことができる。</p>	<p>【設問数】 4問～7問 (程度) 【出題形式】 スピーキング 【出題数の割合】 義務教育範囲 3問～ 5問 (程度) コミュニケーション英 語 I 1問～2問 (程度) 【CEFR】A1～2程度 ※3年は録音方式のスピーキング試験なし(対面式のみ)</p>	<p>話すこと</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2内容 (1) イ 話すこと (ア) 強勢, イントネーション, 区切りなど基本的な英語の音声の特徴をとらえ, 正しく発音すること。 (イ) 自分の考えや気持ち, 事実などを聞き手に正しく伝えること。 (ウ) 聞いたり読んだりしたことなどについて, 問答したり意見を述べ合ったりなどすること。 コミュニケーション英語 I (1) イ 説明や物語などを読んで, 情報や考えなどを理解したり, 概要や要点をとらえたりする。また, 聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと, 学んだことや経験したことに基づき, 情報や考えなどについて, 話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴, 話す速度, 声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 実力診断テスト 2年6月-2年1月

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：1

出題科目	国語総合																														
出題のポイント	古典の文章（古文）について、描かれている人物、情景、心情および展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる力を測定する。																														
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th colspan="2">思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問六</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		問一	○			問二	○			問三	○			問四			○	問五			○	問六			○
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																													
問一	○																														
問二	○																														
問三	○																														
問四			○																												
問五			○																												
問六			○																												
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問五</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問六</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			小問番号	選択式	短答式	記述式	問一	○			問二	○			問三	○			問四	○			問五			○	問六	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																												
問一	○																														
問二	○																														
問三	○																														
問四	○																														
問五			○																												
問六	○																														

サンプル
問題

【三】 次の文章は、以前武士であった男（四郎入道）が過去を悔いて出家した後の話である。これを読んで、後の問いに答えなさい。（配点 二五）

出家の日より、塩断ち、五穀を断ちて、糸・綿の気を着ず。夏冬を分かず、柿（注1）の麻の小袖の合はせたるを一つなむ着たりける。あやし（注2）の糧料とおぼしく、蕎麦そばむぎの粉の粗らかなるをぞ貯たくへたる。午Aの半ばばかりにただ一度、それを食ひて、後はまた、何わざもなし。

「さのみは、蕎麦の粉もいかでかある」と、人のいひければ、「なき時は、芹せりを摘みて食ひ、また、松の葉を食ひて、さてこそは□□」とぞいひける。さて、「夏冬の替はるには、着物はいかで同じさまにては」と問ひければ、「この近ごろよりは、身の上に風の渡るも、^①いと寒くも覚えず。日の照るも事いたくも覚えず。湯など浴あみ待はるも、熱きもぬるきも、いとさだかにも覚えぬBなり」とぞいひける。まことに、そのさま、ただ骨と皮とにぞ見えける。肉しのあらばや、^②身にしむ霜風もあらむ。さて、「深き山に入りて、つばきの実を採りて、油に搾りて、尊たむらき山々寺々に献たまるを行ひにて侍り」とぞいひける。

③ 人みなあはれみて、さまざま情（注3）けをあたりけれど、得さずるものなどは、ふつに得ずなむ侍りける。常に定めたる所は、宇治うぢのそばに田原といふ所とぞ。その齡よばは八十ばかりぞ侍りける。

（「閑居友」による）

（注） 1 柿の麻の小袖——柿渋で染めた麻の着物。

問一 二重傍線部Aの表す時間帯として最も適当なものを次のうちから一つ選び、ア～エの符号で答えなさい。
ア 六時ごろ イ 十二時ごろ
ウ 十四時ごろ エ 二十時ごろ

問二 二重傍線部Bの助動詞の文法的意味として最も適当なものを次のうちから一つ選び、ア～エの符号で答えなさい。
ア 打消 イ 推量 ウ 強意 エ 完了

問三 本文中の空欄にあてはまるものとして最も適当なものを次のうちから一つ選び、ア～エの符号で答えなさい。
ア あら イ あり ウ ある エ あれ

問四 傍線部①・②の現代語訳として最も適当なものを次のうちからそれぞれ一つずつ選び、ア～エの符号で答えなさい。
① いと寒くも覚えず
ア とても寒くて覚えていない
イ とても寒いが我慢はできる
ウ あまり寒いとは感じられない
エ あまりに寒くて何も感じない

2 あやしの糧料——粗末な食料。
3 情けをあたりけれど——思いやりをもって接したが。

- ② 身にしむ霜風もあらむ
ア 身に感じる程の冷たい風はないだろう
イ 身にしみる冷たい風もあるだろう
ウ 身のひきしまる冷たい風である
エ 身をひきさくほどの冷たい風ではない

問五 傍線部③とあるが、人々が気の毒に思ったのは四郎入道のどのような様子か。四十字以内で答えなさい。

問六 本文の内容に合致するものを次のうちから一つ選び、ア～エの符号で答えなさい。
ア 四郎入道は、椿の油を作って寺に献上することを修行としている。
イ 四郎入道は、修行をする場所として田原を寺によって指定されていた。
ウ 人々が椿の油と交換に献上したものを、四郎入道は受け取らなかった。
エ 人々は寺に油を献上し、かわりに何かもろうよう四郎入道にすすめた。

<p>解答例</p>	<p>問一 イ</p> <p>問二 ア</p> <p>問三 エ</p> <p>問四 ① ウ ② イ</p> <p>問五 夏冬とも小袖一枚で過ごしているうえ、一日一度の粗末な食事でやせ細っている様子。</p> <p>【採点のポイント】</p> <p>① 季節を問わず同じ衣服で過ごしていることが書けている。</p> <p>② 粗末な食事でやせ細っていることが書けている。</p> <p>問六 ア</p>
<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>国語総合</p> <p>B 書くこと</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考え方を文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>C 読むこと</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>[伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項]</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>(ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

事業者名：株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名：進路マップ 実力診断テスト 2年6月-2年1月

対象教科：国語

測定内容の区分：標準タイプ

サンプル問題番号：2

出題科目	国語総合																														
出題のポイント	古典の文章（漢文）について、描かれている人物、情景、心情および展開、要旨などを表現に即して読み取ることができる力を測定する。																														
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th colspan="2">思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一 a</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問一 b</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二（1）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問二（2）</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td></td><td></td><td>○</td></tr></tbody></table>			小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等		問一 a	○			問一 b	○			問二（1）	○			問二（2）			○	問三			○	問四			○
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																													
問一 a	○																														
問一 b	○																														
問二（1）	○																														
問二（2）			○																												
問三			○																												
問四			○																												
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>問一 a</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問一 b</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問二（1）</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>問二（2）</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>問三</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>問四</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>			小問番号	選択式	短答式	記述式	問一 a		○		問一 b		○		問二（1）		○		問二（2）	○			問三			○	問四	○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																												
問一 a		○																													
問一 b		○																													
問二（1）		○																													
問二（2）	○																														
問三			○																												
問四	○																														

サンプル
問題

【5】 次の文章は『繫観世音応驗記』の一節で、積法力（文中の「法力」）は、北魏の時代の修行僧である。これを読んで、後の問いに答えなさい。（設問の都合により、返り点・送り仮名を省いたところがある。）（配点 二五）

欲^{スルモ}於^ル魯^ノ郡^ニ立^テ精^{シヤウ}舎^ヲ而^{シテ}銭^ズ物^ヲ不^レ足^ラ与^ト沙^{シヤ}弥^ミ明^{メイ}琛^{チン}往^キ上^{シヤウ}谷^{コク}乞^{ヒテ}得^{タリ}一^ニ車^ノ麻^ヲ載^{セテ}行^ク空^{クウ}沢^{タク}遂^ニ遇^フ野^ヤ火^{クワ}車^ハ在^リ下^ニ風^ニ無^ク得^ズ免^ズ理^ヲ於^レ時^ニ法^ヲ力^ヲ倦^ム眠^ル比^ビ覺^ム而^{シテ}火^ノ勢^ニ已^ニ及^ブ因^{リテ}拳^{ケン}声^ヲ称^シ観^ル未^ダ得^ズ言^フ世^ニ音^{オン}便^チ自^ラ応^ズ声^ヲ風^ヲ転^ズ火^ヲ滅^ス無^ク他^ヲ而^{シテ}帰^ル

- (注)
- 1 精舎——寺院。
 - 2 沙弥明琛——僧侶の明琛。「明琛」は人名。
 - 3 空沢——入けのない沢。
 - 4 野火——枯れ草を焼く野焼きの火。
 - 5 倦眠——うずくまって眠る。

問一 二重傍線部④・⑤の読みをひらがなで答えなさい。（現代仮名遣いでよい。）

問二 傍線部①について次の各問いに答えなさい。

- (1) 書き下し文が「免るるを得る理無し」となるように返り点をつけなさい。（送り仮名は不要。）

(2) 解釈として最も適当なものを次のうちから一つ選び、ア～エの符号で答えなさい。

- ア 逃げられるわけがなかった
- イ 許可されるわけがなかった
- ウ 避ける道理が見つからなかった
- エ 助ける理由が見つからなかった

6 比覚——目が覚めると、の意。

7 観——救いの求めに応じてさまざまに姿を変えたとされる観世音菩薩の「観」。
観音様のこと。

問三 傍線部②を現代語訳しなさい。

問四 本文の内容に合致するものを次のうちから一つ

選び、ア～エの符号で答えなさい。

ア 一時は火事が迫ったが、積法力と明琛の活躍で寺は火に飲まれずにすんだ。

イ 積法力は火に追い詰められたが、「観」と唱えるとたちまち風向きが変わり火が消滅した。

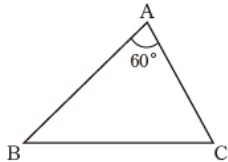
ウ 明琛が放った火が火勢を増し、眠っていた積法力もさすがに目を覚ました。

エ 急に風向きが変わり、麻など他のすべてのものは焼失したものの、積法力だけは助かった。

<p>解答例</p>	<p>問一 a よ（リテ）</p> <p>問一 b おのづ[ず]か（ラ）</p> <p>問二（１）無_レ得_レ免理_一</p> <p>問二（２）ア</p> <p>問三 まだ「世音」と口にできていないのに</p> <p>問四 イ</p>
<p>（参考）学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>国語総合</p> <p>C 読むこと</p> <p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p> <p>〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕</p> <p>ア 伝統的な言語文化に関する事項</p> <p>（ア） 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>（イ） 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p>

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年1月-2年6月
 対象教科:数学
 測定内容の区分:標準タイプ
 サンプル問題番号 1

出題科目	中学校 数学、数学 I																										
出題のポイント	知識・技能の問題を通しての活用と、日常的・数学的な事象において解決の仮定を表現する力を測定する。																										
主として問う能力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)ア</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1)イ</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1)ウ</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)エ</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(2)オ</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)ア	○		(1)イ	○		(1)ウ	○		(2)エ		○	(2)オ		○								
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																									
(1)ア	○																										
(1)イ	○																										
(1)ウ	○																										
(2)エ		○																									
(2)オ		○																									
出題形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>選択式</th> <th>短答式</th> <th>記述式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)ア</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1)イ</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(1)ウ</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)エ</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)オ</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)ア		○		(1)イ		○		(1)ウ		○		(2)エ		○		(2)オ	○		○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																								
(1)ア		○																									
(1)イ		○																									
(1)ウ		○																									
(2)エ		○																									
(2)オ	○		○																								
サンプル問題	<p>2 次の <input type="text"/> を正しくうめなさい。また、(2)は、言葉や不等式を用いて説明しなさい。</p> <p style="text-align: right;">(配点 20) (必答問題)</p> <p>(1) 右の図のような $AB=3$、$AC=2$、$\angle BAC=60^\circ$ の $\triangle ABC$ がある。$\cos 60^\circ$ の値は <input type="text"/> ア <input type="text"/> であるから、余弦定理を用いると、辺 BC の長さは <input type="text"/> イ <input type="text"/> である。また、$\triangle ABC$ の面積は <input type="text"/> ウ <input type="text"/> である。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>(2) 鈴木さんは携帯電話を購入し、次の表のようなプラン A、B、C の 3 種類から月ごとに支払う料金プランを 1 つ決めることになった。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>基本料金</th> <th>1 分間の通話料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プラン A</td> <td>500 円</td> <td>60 円</td> </tr> <tr> <td>プラン B</td> <td>2000 円</td> <td>40 円</td> </tr> <tr> <td>プラン C</td> <td>6000 円</td> <td>0 円</td> </tr> </tbody> </table> <p>1 か月に x 分通話するとき、プラン B の料金プランでの支払金額を x を用いて表すと <input type="text"/> エ <input type="text"/> (円) となる。ただし、x は 0 以上の整数とする。また、1 か月の通話時間が <input type="text"/> オ <input type="text"/> のとき、3 種類の料金プランのうちプラン B での支払金額が一番安くなる。<input type="text"/> オ <input type="text"/> にあてはまるものを次の 1～6 の中からすべて選び、番号で答え、選んだ理由を言葉や不等式を用いて説明しなさい。</p> <p>1 50 分 2 65 分 3 80 分 4 95 分 5 110 分 6 125 分</p>				基本料金	1 分間の通話料	プラン A	500 円	60 円	プラン B	2000 円	40 円	プラン C	6000 円	0 円												
	基本料金	1 分間の通話料																									
プラン A	500 円	60 円																									
プラン B	2000 円	40 円																									
プラン C	6000 円	0 円																									

解答例


(1)

【解答】 $\cos 60^\circ = \frac{1}{2}$ ……**○**
 $\triangle ABC$ において、余弦定理により
 $BC^2 = 2^2 + 3^2 - 2 \cdot 2 \cdot 3 \cos 60^\circ$
 $= 4 + 9 - 6$
 $= 7$
 $BC > 0$ より
 $BC = \sqrt{7}$ ……**○**
 また
 $\triangle ABC = \frac{1}{2} \cdot 2 \cdot 3 \sin 60^\circ$
 $= \frac{1}{2} \cdot 2 \cdot 3 \cdot \frac{\sqrt{3}}{2}$
 $= \frac{3\sqrt{3}}{2}$ ……**○**

押さえよう

余弦定理
 $a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A$

三角形の面積
 $S = \frac{1}{2}bc \sin A$



(2)

思 (2) 鈴木さんは携帯電話を購入し、次の表のようなプラン A, B, C の 3 種類から月ごとに支払う料金プランを 1 つ決めることになった。

	基本料金	1 分間の通話料
プラン A	500 円	60 円
プラン B	2000 円	40 円
プラン C	6000 円	0 円

1 か月に x 分通話するとき、プラン B の料金プランでの支払金額を x を用いて表すと

エ (円) となる。ただし、 x は 0 以上の整数とする。また、1 か月の通話時間が **オ**

のとき、3 種類の料金プランのうちプラン B での支払金額が一番安くなる。**オ** にあてはまるものを次の 1～6 からすべて選び、番号で答え、選んだ理由を言葉や不等式を用いて説明しなさい。(エ 2 点、オは完答で 2 点、説明 6 点)

1 50 分 2 65 分 **3** 80 分 **4** 95 分 5 110 分 6 125 分

【解答】 1 か月に x 分通話するとき、プラン B での支払金額は $2000 + 40x$ (円) ……**○**

同様に、プラン A では $500 + 60x$ (円)、プラン C では 6000 円

よって、 $2000 + 40x < 500 + 60x$ を解くと、 $x > 75$

$2000 + 40x < 6000$ を解くと、 $x < 100$

したがって $75 < x < 100$

すなわち、プラン B での支払金額が一番安くなるのは、1 か月の通話時間が、75 分より長く 100 分より短いときである。

よって 80 分、95 分 ……**○**

ここがポイント!

「携帯電話の料金の 1 か月の支払金額は、(基本料金)+(1 分間の通話料)×(1 か月の通話時間(分))である。」

チェック

今回の問題のポイントがわかった!

考え方のプロセス

今回の問題は次のようなプロセスで考えてみよう。



一般化

わからないこと、知りたいことを文字におき換えて、文字でおくどのように表されるか考える。

今回は問題で、「通話時間」⇒「 x 分」とおいている。基本料金と通話料の合計が支払金額であるので、1 か月の通話時間を x 分としたときのプランごとの支払金額は、次のようになる。

- ・プラン A での支払金額：500+60x (円)
- ・プラン B での支払金額：2000+40x (円)
- ・プラン C での支払金額：6000 円

一般化

3 種類のプランそれぞれで、通話時間が x 分のときの支払金額を文字を用いて表すことができた!

ポイント

プラン C の 1 分間の通話料が 0 円であることに気をつける。

比較

2 つの条件を比較して、立式する。

プラン A とプラン B、プラン B とプラン C をそれぞれ比較して、プラン B が安くなるときを考えるから
 $(\text{プラン B での支払金額}) < (\text{プラン A での支払金額})$
 $(\text{プラン B での支払金額}) < (\text{プラン C での支払金額})$
 と立式することができる。

比較

不等式を立式できた!

整理

2 つの不等式を解く。

数直線を用いて、2 つの不等式の共通範囲を表してみよう。



ポイント

2 つの不等式の共通範囲を考えることに気をつける。

整理

2 つの不等式を解くことができた!

結論

答えを求める。
 プラン B での支払金額が一番安くなるのは、1 か月の通話時間が 75 分より長く 100 分より短いときである。この範囲に含まれるのは、80 分と 95 分である。

結論

答えを求めることができた!

(参考) 学習指導要領の関連項目

中学校指導要領 数学〔第 1 学年〕

2 A (2)

エ 数量の関係や法則などを文字を用いた式に表すことができることを理解し、式を用いて表したり読み取ったりすること。

数学 I

2 (1)

イ 式

(イ) 一次不等式

不等式の解の意味や不等式の性質について理解し，一次不等式の解を求めたり一次不等式を事象の考察に活用したりすること。

2 (2)

ア三角比

(イ) 正弦定理・余弦定理

正弦定理や余弦定理について理解し，それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めること。

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年1月-2年6月

対象教科:数学

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号 2

出題科目	数学 A																		
出題のポイント	順列や組合せの性質を用いて、場合をもれなく正確に数え上げられるかを測定する。																		
主として問う能力	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>知識・技能</th> <th>思考力・判断力・表現力等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	(1)	○		(2)		○	(3)		○						
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																	
(1)	○																		
(2)		○																	
(3)		○																	
出題形式	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小問番号</th> <th>選択式</th> <th>短答式</th> <th>記述式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2)</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(3)</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	小問番号	選択式	短答式	記述式	(1)	○			(2)			○	(3)			○		
小問番号	選択式	短答式	記述式																
(1)	○																		
(2)			○																
(3)			○																
サンプル問題	<p>5 男子6人、女子3人の合計9人の生徒がいる。(配点 30)</p> <p>(1) 次の <input type="text"/> にあてはまるものを下の1~4の中から1つずつ選び、番号で答えなさい。</p> <p>男子6人が横一列に並ぶ方法は、全部で <input type="text"/> ア 通りあり、女子3人から2人を選ぶ方法は、全部で <input type="text"/> イ 通りある。</p> <p>【 <input type="text"/> ア の選択肢群】 1 1 2 6 3 120 4 720</p> <p>【 <input type="text"/> イ の選択肢群】 1 1 2 3 3 6 4 9</p> <p>(2) 9人から男子と女子を2人ずつ選んで4人の組を作る方法は全部で何通りあるか求めなさい。また、9人から男子、女子ともに、少なくとも1人を含む4人の組を作る方法は全部で何通りあるか求めなさい。</p> <p>(3) 9人から男子4人、女子2人を選んで横一列に並ぶ方法のうち、女子が両端になる方法は全部で何通りあるか求めなさい。また、9人から男子3人を選び、選んだ男子3人と女子3人が男女交互に横一列に並ぶ方法は全部で何通りあるか求めなさい。</p>																		

<p>解答例</p>	<p>[解答]</p> <p>(1) 男子6人が横一列に並ぶ方法は ${}_6P_6 = 6! = 6 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 3 \cdot 2 \cdot 1 = 720$ (通り) ……\square 女子3人から2人を選ぶ方法は ${}_3C_2 = {}_3C_1 = 3$ (通り) ……\square</p> <p>(2) 男子2人を選ぶ方法は ${}_6C_2 = \frac{6 \cdot 5}{2 \cdot 1} = 15$ (通り) 女子2人を選ぶ方法は、(1)より 3通り よって、男子と女子を2人ずつ選んで4人の組を作る方法は $15 \times 3 = 45$ (通り) ……\square 同様に、男子1人、女子3人を選んで4人の組を作る方法は ${}_6C_1 \times {}_3C_3 = 6 \times 1 = 6$ (通り) 男子3人、女子1人を選んで4人の組を作る方法は ${}_6C_3 \times {}_3C_1 = 20 \times 3 = 60$ (通り) よって、男子、女子ともに、少なくとも1人を含む4人の組を作る方法は $45 + 6 + 60 = 111$ (通り) ……\square</p> <p>(3) 両端の女子2人を選んで並ぶ方法は ${}_3P_2 = 3 \cdot 2 = 6$ (通り) 男子4人を選んで横一列に並ぶ方法は ${}_6P_4 = 6 \cdot 5 \cdot 4 \cdot 3 = 360$ (通り) よって、男子4人、女子2人を選んで横一列に並ぶ方法のうち、女子が両端になる方法は $6 \times 360 = 2160$ (通り) ……\square 男子、女子3人ずつが男女交互に横一列に並ぶ方法は 男女男女男女、女男女男女男 の2通りあり、それぞれの場合において、男子3人を選んで横一列に並ぶ方法は ${}_6P_3 = 6 \cdot 5 \cdot 4 = 120$ (通り) 女子3人が横一列に並ぶ方法は ${}_3P_3 = 3 \cdot 2 \cdot 1 = 6$ (通り) よって、男子3人を選び、選んだ男子3人と女子3人が男女交互に横一列に並ぶ方法は $2 \times 120 \times 6 = 1440$ (通り) ……\square 6</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>押さえよう</p> <p>異なる n 個から r 個取り出して並べる順列の総数は ${}_nP_r = \frac{n(n-1)(n-2)\cdots(n-r+1)}{r \text{ 個の数の積}}$</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>押さえよう</p> <p>異なる n 個から r 個を取り出す組合せの総数は ${}_nC_r = \frac{n(n-1)\cdots(n-r+1)}{r(r-1)\cdots 3 \cdot 2 \cdot 1}$</p> </div>
<p>(参考) 学習指導要領の関連項目</p>	<p>数学 A</p> <p>2 (1)</p> <p>ア 場合の数</p> <p>(ア) 数え上げの原則</p> <p>集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則について理解すること。</p> <p>(イ) 順列・組合せ</p> <p>具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求めること。</p>

(様式5)

サンプル問題について

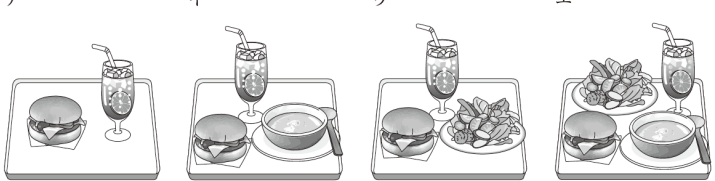
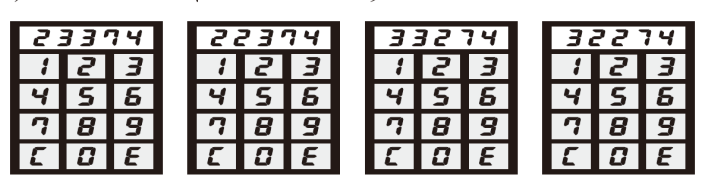
事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

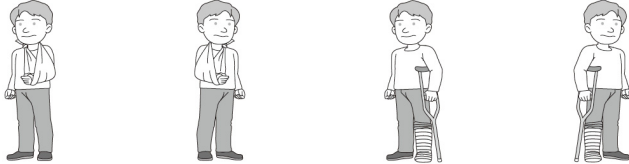
測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年1月-2年10月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:1

出題科目	中学校学習指導要領 外国語、コミュニケーション英語 I																							
出題のポイント	図で与えられた情報と、音声で与えられる情報とを正しく比較できるかを測定する。																							
主として問う能力	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力・表現力等</th></tr></thead><tbody><tr><td>No. 1</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>No. 2</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>No. 3</td><td>○</td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	No. 1	○		No. 2	○		No. 3	○									
小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等																						
No. 1	○																							
No. 2	○																							
No. 3	○																							
出題形式	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>選択式</th><th>短答式</th><th>記述式</th></tr></thead><tbody><tr><td>No. 1</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>No. 2</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>No. 3</td><td>○</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	選択式	短答式	記述式	No. 1	○			No. 2	○			No. 3	○						
小問番号	選択式	短答式	記述式																					
No. 1	○																							
No. 2	○																							
No. 3	○																							
主として問う技能(英語のみ)	<table border="1"><thead><tr><th>小問番号</th><th>聞く</th><th>読む</th><th>話す</th><th>書く</th></tr></thead><tbody><tr><td>No. 1</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>No. 2</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>No. 3</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>				小問番号	聞く	読む	話す	書く	No. 1	○				No. 2	○				No. 3	○			
小問番号	聞く	読む	話す	書く																				
No. 1	○																							
No. 2	○																							
No. 3	○																							
サンプル問題	<p>次に放送される二人の人物による会話を聞いて、それに関する質問の答えとして最も適切なものを、それぞれ下のア～エのうちから一つずつ選び、記号で答えなさい。なお、会話は二回ずつ読まれる。</p> <p>No. 1 What did the man order ?</p> <p>ア イ ウ エ</p>  <p>No. 2 What is the correct code ?</p> <p>ア イ ウ エ</p> 																							

	<p>No. 3 According to the conversation, which picture of the man is correct ?</p> <p>ア イ ウ エ</p>  <p>【放送文】</p> <p>No. 1 Woman : Are you ready to order ? Man : Yes, can I have a cheeseburger and a pink lemonade, please ? Woman : Certainly. Would you like soup or salad with that ? Man : No, thanks.</p> <p>No.2 Woman : Hi, Mike. What's wrong ? Man : I can never remember the code to the back door. Is it 23374 ? Woman : No, you've got the first part wrong. It's 32274. Man : Thanks.</p> <p>No.3 Woman : What happened to your arm ? Man : Oh, I broke it snowboarding over the weekend. Woman : Are you OK ? Man : Yeah, thankfully I'm left-handed so it's not much of a problem.</p>
<p>解答例</p>	<p>No.1 ア No.2 エ No.3 イ</p> <p>会話の中で、情報が追加されたり、訂正されたりすることに注意することがポイント。</p>
<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ア 聞くこと (イ)自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ること。</p> <p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。</p>

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年1月-2年10月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:2

出題科目	中学校学習指導要領 外国語、コミュニケーション英語 I			
出題のポイント	ある程度の長さの英文を読み、そのポイントが理解できているか、要旨をまとめることができるかを測定する。			
主として問う能力	小問番号 —	知識・技能	思考力・判断力・表現力等 ○	
出題形式	小問番号 —	選択式 ○	短答式	記述式
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号 —	聞く	読む ○	話す 書く
サンプル問題	<p>次の英文を読んで、その要旨〔まとめの内容〕として最も適当なものを、下のア～エのうちから一つ選び、記号で答えなさい。</p> <p>I have only 4 months until my graduation from college. My friends have only been talking about getting a job. However, I really don't care about that right now. My plan after college is to travel. I want to go somewhere where I can meet people from different cultures. I hope they will show me things I have never seen before and help me to have new experiences. I have some worries though. My biggest worry is about money. I need to save hard now and make a money plan for my trip. I'm a little nervous but I'm really excited about what will happen.</p> <p>ア 筆者は大学卒業まであと4か月しかないが、就職のことは全く気にしていない。 イ 筆者は旅先で今までに見たことのないものを見たり、新しい経験をしたいと思っている。 ウ 筆者にとっての最大の心配事は、一生懸命貯金をして旅行のためのお金の計画を立てることである。 エ 筆者は不安なこともあるが、異文化の人々と新しい経験をする大学卒業後の旅行で何が起こるかとてもワクワクしている。</p>			
解答例	<p>エ</p> <p>第1～4文で、「大学卒業後は旅行を計画している」こと、第5・6文では「その行き先とそれに期待すること」、第7～9文で「心配な点とそのために今やるべきこと」がそれぞれ具体的に述べられている。最終文で「少し不安ではあるが、何が起きるかとてもワクワクしている」と結んでいる。部分だけでなく全体の内容を踏まえてまとめたものを選択する。</p>			

<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>中学校学習指導要領 外国語 2 内容 (1) ウ 読むこと (イ) 書かれた内容を考えながら黙読したり，その内容が表現されるように音読すること。 (ウ) 物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ること。</p> <p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。また，聞き手に伝わるように音読する。</p>
---------------------------------------	---

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション

測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年1月-2年10月

対象教科:英語

測定内容の区分:標準タイプ

サンプル問題番号:3

出題科目	コミュニケーション英語 I			
出題のポイント	会話の内容を読みとり、それを適切な英語で表現できるかを測定する。			
主として問う能力	小問番号 —	知識・技能	思考力・判断力・表現力等 ○	
出題形式	小問番号 —	選択式	短答式	記述式 ○
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号 —	聞く	読む	話す 書く ○
サンプル問題	<p>次のイラストのセリフを参考にして、下線部の日本語を英語になおしなさい。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>きみは僕より速く走れるよ。 You can run faster than I.</p> </div> <div style="text-align: center;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>へえ、そうなの？ じゃあ、<u>学校の中で足が一番速いのは誰だろう？</u> Oh, really? Then _____ _____</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>そうだね、でも、ボブはクラスの誰よりも足が速いんだよ。 That's true, but Bob is the fastest runner in our class.</p> </div> </div>			
解答例	<p>(Then) who is the fastest runner in our school? 会話の内容に合わせて、疑問詞や比較表現を用いた英語表現ができるかがポイント。</p>			
(参考)学習指導要領の関連項目	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。 (2) イ 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりすること。</p>			

サンプル問題について

事業者名:株式会社ベネッセコーポレーション
 測定ツール名:進路マップ 実力診断テスト 1年1月-2年10月
 対象教科:英語
 測定内容の区分:標準タイプ
 サンプル問題番号:4

出題科目	コミュニケーション英語 I											
出題のポイント	身近なテーマで、第三者について扱った図や表に関して、聞き手にその内容が伝わるように「発表」することができるかを測定する。											
主として問う能力	小問番号	知識・技能	思考力・判断力・表現力等									
	—		○									
出題形式	小問番号	選択式	短答式	記述式								
	—			○								
主として問う技能 (英語のみ)	小問番号	聞く	読む	話す								
	—			○								
サンプル問題	<p>(下記の問題は、「話すこと」(発表)に関する問題サンプルです。実際には、受検する生徒の学力レベルや実施時期に考慮した内容・難易度での出題を予定しています。)</p> <p>以下の円グラフは、「学校にどのような交通手段で来ているか」をある学校で調査した結果を示している。あなたはこの円グラフについて、説明することになった。まずは30秒間で内容を確認しなさい。その後、何が示されているかを英語で説明しなさい。</p> <div style="text-align: center;"> <p>How do students come to school?</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>Transportation Method</th> <th>Percentage</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>By bus</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>By train</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>Others</td> <td>16%</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ By bus ■ By train ■ Others</p> </div>				Transportation Method	Percentage	By bus	56%	By train	28%	Others	16%
Transportation Method	Percentage											
By bus	56%											
By train	28%											
Others	16%											
解答例	<p>解答例: At this school, students come to school more by bus than train.</p> <p>解説: グラフの特徴を読み取り、英語で正確に表現する力を測る問題。「電車通学よりもバス通学の方が多い」の他にも、「ほとんどがバスか電車で通学している」など、解答パターンは様々であるが、内容が矛盾しないよう、「誰が」「何を」「どうやって」「どうする」といった要素を明確してから発表するとよい。</p>											

<p>(参考)学 習指導要 領の関連 項目</p>	<p>コミュニケーション英語 I 2 内容 (1) イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。 ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。 (2) ア リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりすること。</p>
---------------------------------------	---